

早朝の奄美の森を歩きますか？

調査員募集と調査費支援のお願い！

オオトラツグミさえずり調査に参加するボランティアの募集及び調査に必要な資金のご寄付をお願いしております。

オオトラツグミは奄美大島だけに生息している野鳥で、絶滅危惧種Ⅱ類（環境省レッドデータ）に指定されて、いまだ詳しい生態は不明であり生息数も非常に少なく絶滅の危機にさらされています。



オオトラツグミ

NPO 奄美野鳥の会では、このオオトラツグミの繁殖個体数の増減を記録しておくために、1994年から全島でさえずり一斉調査を行っており、今回で15回目の調査となります。（調査結果は裏面記載）

この調査には一斉調査（ルートセンサス）と定点調査の二種類があります。一斉調査は早朝、二人一組で林道を行き2km、帰りに2kmの往復4kmを歩き、さえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。主な調査対象となる奄美中央林道（奄美市名瀬一宇検村）の調査区間が長いために多くの調査員を必要としています。

定点調査とはあらかじめ決められた地点付近でさえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。この調査も参加者が多ければ奄美大島のいろんな地域をもっと調べることができます。また、参加した方々に奄美の自然のすばらしさも体験してもらいと願っております。

この調査についての寄付のお願いも行っております。器具の購入費や調査員の傷害保険や朝食などの経費に充てるためです。

この調査の意義をご理解頂き、御協力をお願い申し上げます。



調査員説明会（奄美博物館）



調査のようす